

	発表(20分) 質疑(20分) 指導助言(5分)	交代 10分	発表(20分) 質疑(20分) 指導助言(5分)	休憩 20分	発表(20分) 質疑(20分) 指導助言(5分)	交代 10分	発表(20分) 質疑(20分) 指導助言(5分)
座長/司会	①13:40~14:25		②14:35~15:20		③15:40~16:25		④16:35~17:20
A 春日井 敏之 (研究調査委員長) 司会者 (理事)			児童の学校適応感に対する教師の認識— 学校適応感尺度(ASSESS)を用いた 検討— 山田 洋平(福岡教育大学) 中村 通華(株式会社さなる)		小学生の友人同士の対立場面における 介入行動意図と学校適応感の関連 松山 康成 (香里ヌヴェール学院大学) 真田 穰人 (梅光学院大学)		中央大学におけるピア・サポート・ サークルの実験的取り組み —「当事者であり支援者でもある」 という二重構造に着目して— 高口 僚太郎・山科 満・菊池 創(中央大 学), 番園 寛也(国際基督教大学)
B 栗原 慎二 (研究紀要委員長) 司会者 (理事)	ピア・サポート活動の立ち上げに 関わった大学生の成長に関する研究 川崎 隆 (別府大学)		絵本と音楽のコラボレーションイベントの 効果研究II —イベント参加者の記述からの考察— 中野 修(金沢医科大学), 増田 梨花(立命館大学大学院)		大学ピア・サポート活動における 学生ピア・サポーターのモチベーションに 関する探索的研究 藤岡 大輔 (北海道大学学生相談総合センター 学生相談室)		大学生における協同的な学びの 促進方略—Learning Through Discussionによる学びのなかで— 真田 穰人 (梅光学院大学)
C 池 雅之 (研究調査委員) 司会者 (理事)			ふざろいな仲間たちへの ピアの仲間による ピアサポートプログラム 吉田 冷子・霍田 丸子・木村 ミチ子 (ピア町田の会)		コロナ禍での大学新入生に向けた PSPの試み —新入生交流会を活用した サポート体制づくり— 山崎 茜(広島大学教職大学院) 栗原 慎二(広島大学大学院)		教育分野における近年の ピア・サポート研究の動向—学校の中で のみ助け合うことを目指すのか?— 松下 健(北陸学院大学), 山口 権治(浜松 市教育総合支援センター), 中村 泉(浜北天竜 災害ボランティアコーディネーター連絡会), 平尾 賢 弘(静岡県西部エデュケーション研究会)
D 西山 久子 (国際交流委員長) 司会者 (理事)	長年に渡る中学校での PS活動の内容と変遷—スクール カウンセラーからの視点より— 小松 宏暢 (高知県スクールカウンセラー) 池 雅之(高知工科大学)		ピア・サポーター資格が研修参加動機に 与える影響—高等学校における13年間 の研修を通して— 桑原 博美 (大阪府立東百舌鳥高等学校)		私立A高校におけるピア・サポート・ トレーニングの取り組み —上級生から下級生への オンラインアイスブレイクの実践— 竹田 美保・陶山 大輔・小袋 伸枝 (学校法人明星学園浦和学院高等学校)		養護教諭からみた教師のメンタルヘルス 支援の在り方に関する一考察—養護教諭 へのアンケート調査の分析から— 服部 紀代 (立命館大学大学院人間科学研究科 博士後期課程3年)
E 中林 浩子 (研修委員長) 司会者 (理事)	特別支援学校高等部の生徒に対する ピア・サポート活動の効果 —発達障害, 特にASD傾向のある生徒に対して— 藤井 謙介 (兵庫県キャンパスカウンセラー)		医療系大学での障害学生支援に向けた ピア・サポーター養成 —「心のバリアフリー」を目指して— 岩村 純子・松本 珠美・村瀬 美香・ 原口 奈美・嶋田 かをる・ (熊本保健科学大学)		児童養護施設における絵本の読み合わせ を活用したピア・サポートに関する研究 —職員を対象にした生理指標と 感情表出の視点からの一考察— 増田 梨花(立命館大学大学院), 鄭 平陽 (立命館大学大学院人間科学研究科博士 課程後期)・松下 健(北陸学院大学)		児童養護施設における被虐待児童を 対象にした心理支援—絵本の読み合わせ を活用したアプローチによる「支えるこ と」から「支え合うこと」への変容 鄭 平陽・服部 紀代・梅原 聡(立命館大学 大学院人間科学研究科博士課程後期), 増田 梨花(立命館大学大学院)

発表中の異動はご遠慮ください。

発表中の異動はご遠慮ください。